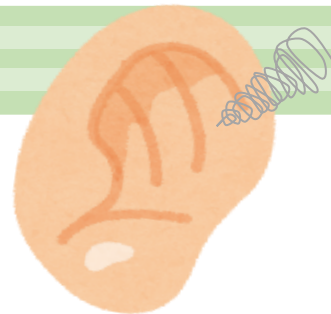


「聞こえにくい」を 放っておかないで！



耳の聞こえにくさは加齢だけが原因ではありません。
耳垢や中耳炎などの病気、騒音やテレビなどを大きな音で聞く習慣
などが、難聴をさらに悪化させている場合があります。そのような
場合は、投薬や手術などで治療できる可能性があります。

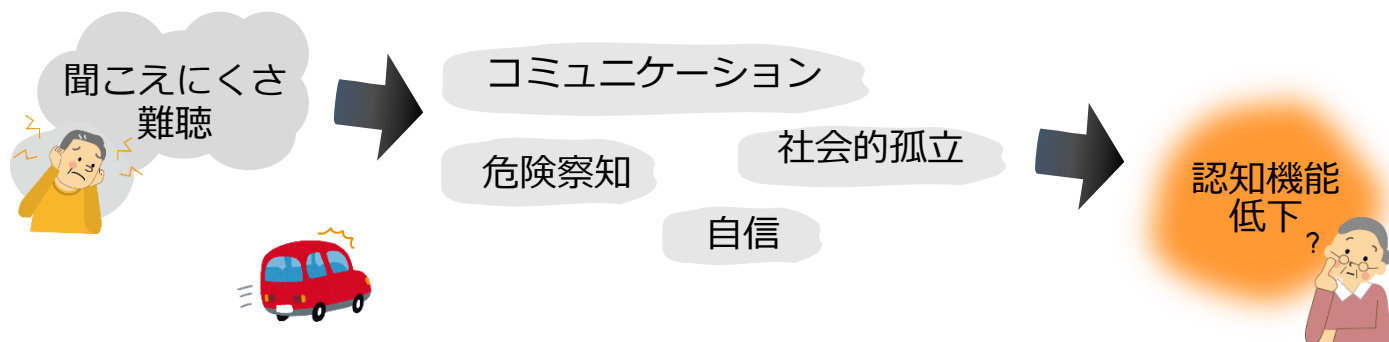
難聴は「聞こえ」の問題だけではなく…



認知症 とともに大きな関わりがあります

加齢性の難聴は、音を感じる部位に問題が起こり、音を認識できても
言葉などの情報をうまく脳に送る事が難しくなります。聴力の低下は
少しずつ進行するため自覚しにくく、そのまま放置されていることが
少なくありません。

しかし、聞こえにくい状態が続くと、生活にさまざまな支障が出る
おそれがあります。



「聞こえにくい」ことが、人によっては会話を億劫に感じ、徐々に
外出が減り、引きこもりがちになることで、脳への刺激が減り、
認知機能が低下する原因になります。

「聞こえ」で気になることがあったら、

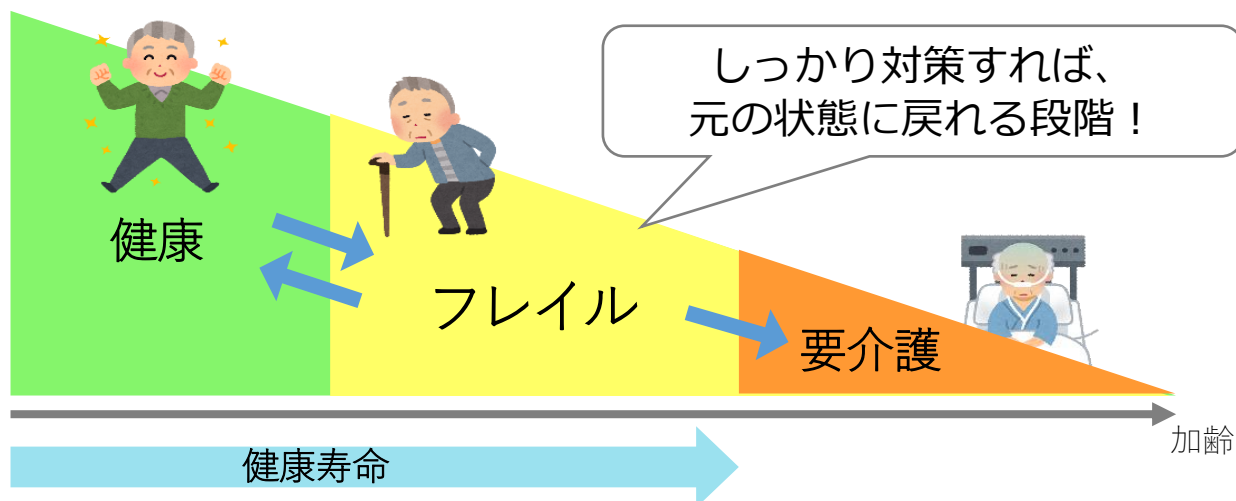
まずは耳鼻咽喉科に相談しましょう。



フレイルを知っていますか？

筋力や心身の活力が低下し、健康障害を起こしやすい状態を「フレイル」と言います。

そのまま放置すると要介護状態になる方が多く、早期の対処が重要です。



ヒアリングフレイルに なっていませんか？

「ヒアリングフレイル」は聴覚機能の低下によるコミュニケーションの問題などの身体の衰えのことです。

最近会話が
たのしくない

聞き返すこと
が増えた

外出が
おっくう

聞こえたふり
をしてしまう

聞こえにくいと、活動全般に影響をおよぼし、フレイルリスクが高まります。

「聞こえ」で気になることがあったら、

まずは耳鼻咽喉科に相談しましょう。